

研修カリキュラム表（介護職員初任者研修課程）

事業者名：三重県三重郡老人福祉施設組合みずほ寮

※実施内容については、要綱別紙2「介護職員初任者研修における目標、評価の指針」を網羅すること。

研修カリキュラム（要綱別紙1）		実施計画				
講義・演習（実習）		カリキュラム名・時間数		実施内容		
1 職務の理解	6時間	1 職務の理解	時間数	うち通学	うち通信	1 職務の理解
	(1) 多様なサービスの理解		2	2	/	・介護保険による居宅サービス ・介護保険による施設サービス ・介護保険外のサービス 講義とDVD教材を活用
	(2) 介護職の仕事内容や働く現場の理解		4	4	/	・介護サービスを提供する現場の実際 ・介護サービスの提供に至るまでの流れ 講義と演習を一体的に実施
2 介護における尊厳の保持・自立支援	9時間	2 介護における尊厳の保持・自立支援	時間数	うち通学	うち通信	2 介護における尊厳の保持・自立支援
	(1) 人権と尊厳を支える介護		6	6	/	・人権と尊厳の保持・ICF・QOL ・ノーマライゼーション・虐待防止、身体拘束禁止 ・個人の人権を守る制度の概要 講義と演習を一体的に実施
	(2) 自立に向けた介護		3	3	/	・自立支援 ・介護予防 講義と演習を一体的に実施
3 介護の基本	6時間	3 介護の基本	時間数	うち通学	うち通信	3 介護の基本
	(1) 介護職の役割、専門性と多職種との連携		1.5	1.5	/	・介護環境の特徴 ・介護の専門性 ・介護にかかわる職種 講義と演習を一体的に実施
	(2) 介護職の職業倫理		1.5	1.5	/	・専門職の倫理の意義 ・介護福祉士の倫理 講義と演習を一体的に実施
	(3) 介護における安全の確保とリスクマネジメント		1.5	1.5	/	・介護における安全の確保 ・事故予防、安全対策 ・感染対策 講義と演習を一体的に実施
	(4) 介護職の安全		1.5	1.5	/	・介護職の心身の健康管理 ・感染予防 講義と演習を一体的に実施

4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 9時間	4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	時間数	うち通学	うち通信	4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携
(1) 介護保険制度	(1) 介護保険制度	3	3	/	<ul style="list-style-type: none"> 介護保険制度創設の背景および目的、動向 介護保険制度のしくみの基礎的理解 制度を支える財源、組織・団体の機能と役割 講義と演習を一体的に実施
(2) 障がい者福祉制度及びその他の制度	(2) 障がい者福祉制度及びその他の制度	3	3	/	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者福祉制度の概念 障がい者福祉制度のしくみの基礎的理解 講義と演習を一体的に実施
(3) 医療との連携とリハビリテーション	(3) 医療との連携とリハビリテーション	3	3	/	<ul style="list-style-type: none"> 医行為と介護 訪問看護 施設における看護と介護の役割、連携 リハビリテーションの理念 講義と演習を一体的に実施
5 介護におけるコミュニケーション技術 6時間	5 介護におけるコミュニケーション技術	時間数	うち通学	うち通信	5 介護におけるコミュニケーション技術
(1) 介護におけるコミュニケーション	(1) 介護におけるコミュニケーション	3	3	/	<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションの意義、目的、役割 コミュニケーションの技法 利用者、家族とのコミュニケーションの実際 利用者の状況・状態に応じたコミュニケーション技術の実際
(2) 介護におけるチームのコミュニケーション	(2) 介護におけるチームのコミュニケーション	3	3	/	<ul style="list-style-type: none"> 記録における情報の共有化 報告、連絡、相談 コミュニケーションを促す環境
6 老化の理解 6時間	6 老化の理解	時間数	うち通学	うち通信	6 老化の理解
(1) 老化に伴うこころとからだの変化と日常	(1) 老化に伴うこころとからだの変化と日常	3	3	/	<ul style="list-style-type: none"> 老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴 老化に伴う心身の機能の変化と日常生活への影響 講義と演習を一体的に実施
(2) 高齢者と健康	(2) 高齢者と健康	3	3	/	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の疾病と日常生活上の留意点 高齢者に多い病気と日常生活上の留意点 講義と演習を一体的に実施
7 認知症の理解 6時間	7 認知症の理解	時間数	うち通学	うち通信	7 認知症の理解
(1) 認知症を取り巻く環境	(1) 認知症を取り巻く環境	1.5	1.5	/	<ul style="list-style-type: none"> 認知症ケアの理念 認知症ケアの視点 講義と演習を一体的に実施
(2) 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	(2) 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	1.5	1.5	/	<ul style="list-style-type: none"> 認知症の概念・認知症の原因疾患とその病態 原因疾患別ケアのポイント・健康管理 講義と演習を一体的に実施
(3) 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	(3) 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	1.5	1.5	/	<ul style="list-style-type: none"> 認知症の人の生活障害、心理、行動の特徴 認知症の人への対応 講義と演習を一体的に実施
(4) 家族への支援	(4) 家族への支援	1.5	1.5	/	<ul style="list-style-type: none"> 家族へのレスパイトケア 家族へのエンパワメント 講義と演習を一体的に実施

8 障害の理解		3時間
(1) 障害の基礎的理解		
(2) 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識		
(3) 家族の心理、かかわり支援の理解		
9 ところとからだのしくみと生活支援技術		75時間
ア 基本知識の学習		10~13時間
(1) 介護の基本的な考え方		
(2) 介護に関するところのしくみの基礎的理解		
(3) 介護に関するからだのしくみの基礎知識		
イ 生活支援技術の講義・演習		50~55時間
(4) 生活と家事		
(5) 快適な居住環境整備と介護		
(6) 整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護		
(7) 移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護		

8 障害の理解	時間数	うち通学	うち通信
(1) 障害の基礎的理解	1	1	/
(2) 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	1	1	/
(3) 家族の心理、かかわり支援の理解	1	1	/
9 ところとからだのしくみと生活支援技術			
ア 基本知識の学習	時間数	うち通学	うち通信
(1) 介護の基本的な考え方	2	2	/
(2) 介護に関するところのしくみの基礎的理解	4	4	/
(3) 介護に関するからだのしくみの基礎知識	6	6	/
イ 生活支援技術の講義・演習	時間数	うち通学	うち通信
(4) 生活と家事	6	6	/
(5) 快適な居住環境整備と介護	3	3	/
(6) 整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	6	6	/
(7) 移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	12	12	/

8 障害の理解	<ul style="list-style-type: none"> ・障害の概念とICF
(1) 障害者福祉の基本理念 講義と演習を一体的に実施	
(2) 身体障害 知的障害 精神障害 講義と演習を一体的に実施	
(3) 家族の理解と障害の受容支援 介護負担の軽減 講義と演習を一体的に実施	
9 ところとからだのしくみと生活支援技術	
ア 基本知識の学習	
(1) 理論に基づく介護 法的根拠に基づく介護 講義と演習を一体的に実施	
(2) 学習と記憶に関する基礎知識・感情と意欲に関する基礎知識 自己概念と生きがい 老化や障害を受け入れる適応行動とその阻害要因 講義と演習を一体的に実施	
(3) 人体の各部の名称と動きに関する基礎知識 骨、関節、筋に関する基礎知識とボディメカニクスの活用 中枢神経と体性神経に関する基礎知識 自律神経と内部器官に関する基礎知識 講義と演習を一体的に実施	
イ 生活支援技術の講義・演習	
(4) 生活と家事の理解 家事援助に関する基礎的知識と生活支援 講義と演習を一体的に実施 ベットメイキング等実技演習	
(5) 快適な居住環境に関する基礎知識 高齢者、障害者特有の居住環境整備と福祉用具の活用 講義と演習を一体的に実施	
(6) 整容に関する基礎知識 整容の支援技術 講義と演習を一体的に実施 衣服の着脱等実技演習	
(7) 移動、移乗に関する基礎知識 移動、移乗に関する福祉用具とその活用方法 利用者、介助者にとって負担の少ない移動、移乗の支援 移動、移乗を阻害する要因の理解とその支援方法 移動と社会参加の留意点と支援 講義と演習を一体的に実施 体位変換、車椅子の移動・移乗、歩行介助等実技演習	

(8) 食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	
(9) 入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	
(10) 排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	
(11) 睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	
(12) 死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護	
ウ 生活支援技術演習	10~12時間
(13) 介護過程の基礎的理解	
(14) 総合生活支援技術演習	
10 振り返り	4時間
(1) 振り返り	
(2) 就業への備えと研修修了後における継続的な研修	
追加カリキュラム	
計	(130時間)

(8) 食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	6	6	
(9) 入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	6	6	
(10) 排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	6	6	
(11) 睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	4	4	
(12) 死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護	2	2	
ウ 生活支援技術演習	時間数	うち通学	うち通信
(13) 介護過程の基礎的理解	2	2	
(14) 総合生活支援技術演習	12	12	
10 振り返り	時間数	うち通学	うち通信
(1) 振り返り	2	2	
(2) 就業への備えと研修修了後における継続的な研修	2	2	
計	(130時間)		

(8) <ul style="list-style-type: none"> ・食事に関する基礎知識 ・食事環境の整備と食事に関する用具の活用方法 ・楽しい食事を阻害する要因の理解と支援方法 ・食事と社会参加の留意点と支援 講義と演習を一体的に実施 食事介助等実技演習
(9) <ul style="list-style-type: none"> ・入浴、清潔保持に関連する基礎知識 ・入浴、清潔保持に関連する用具の活用方法 ・楽しい入浴を阻害する要因の理解と支援方法 講義と演習を一体的に実施 入浴介助、足浴介助、洗髪介助、清拭等実技演習
(10) <ul style="list-style-type: none"> ・排泄に関する基礎知識 ・排泄環境の整備と関連する用具の活用方法 ・爽快な排泄を阻害する要因の理解と支援方法 講義と演習を一体的に実施 排泄介助、陰部洗浄等実技演習
(11) <ul style="list-style-type: none"> ・睡眠に関する基礎知識 ・睡眠環境の整備と関連する用具の活用方法 ・快い睡眠を阻害する要因の理解と支援方法 講義と演習を一体的に実施
(12) <ul style="list-style-type: none"> ・終末期に関する基礎知識 ・生から死への過程 ・「死」に向き合うことへの理解 ・苦痛の少ない死への支援 講義と演習を一体的に実施
ウ 生活支援技術演習
(13) <ul style="list-style-type: none"> ・介護過程の目的、意義、展開 ・介護過程とチームアプローチ 講義と演習を一体的に実施
(14) <ul style="list-style-type: none"> ・演習を行うにあたって ・「食べたくない」と訴える施設入所者の援助 ・できるだけ外に出かけたいと思っている利用者の援助 ・トイレでの排泄にこだわりをもつ利用者の援助 講義と演習を一体的に実施
10 振り返り
(1) <ul style="list-style-type: none"> ・研修を通じ学んだこと、今後学ぶべきこと ・介護の要点を理解しているか（根拠も含めて） 講義部分と演習部分を一体的に振り返る。 講義と演習を一体的に実施
(2) <ul style="list-style-type: none"> ・継続的に学ぶべきこと ・継続的な研修を具体的にイメージできるように事業所等での実例を紹介する。 講義部分と演習部分を一体的に実施する。 講義と演習を一体的に実施
追加カリキュラム
計

第1－2号様式

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実施内容には、講義内容、演習の実施方法、通信学習課題の概要等を記載すること。（別紙でも可）
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。